

小田原
暮らしの
勧め

暮らし

安心して毎日を過ごせるまちであるために。
笑顔が広がるまちであるために。



一人ひとりがつながり、地域の力で課題を解決する地域コミュニティ組織

26の自治会連合会の区域で、福祉健康、防災、地域振興など様々な分野の課題解決に向け、その地域の実情に則した取組が地域コミュニティ組織により進められています。



県西の基幹病院、小田原市立病院

26の診療科を標榜し、救命救急センター、地域周産期母子医療センターや地域がん診療連携拠点病院等の指定を受けています。県西地域の高度医療、急性期医療を担う病院です。



「いざ」にみんなで備えるために

災害に強いまちづくりに向けて、ハード面・ソフト面双方から取り組んでいます。住民の方々が自主防災組織を結成し、防災訓練を実施するなど、地域の防災力強化に努めています。



ケアタウンおだわら、地域で支えあう取り組み

地域で支えあう関係づくりをめざし、住民組織主体で生活応援隊やサロン、見守りなどの活動をしています。また、専門職と住民が協力し医療介護福祉への関心をもつ活動も進んでいます。



ウォーキングを楽しめるまち

「ウォーキングタウン小田原」を掲げ、市内各地に多彩なコースをつくり、まち歩きを推進しています。毎年開催される「城下町おだわらツアーデーマーチ」は全国から多くの人々が参加します。

▶自治会の数

26 地区の
連自治会
251 の単位
自治会
(2019年1月現在)

▶公園面積

1人あたり
5.34 m²/人
[平成30年版小田原市ミニ統計]

▶自動車保有台数

111,801 台 
1人あたり 0.58 台 (全国平均 0.47台)
[平成30年版小田原市ミニ統計] (全国平均は2018年3月現在)

▶ごみ処理

69,579 t 
1人1日あたり 991 g
(2017年度)

▶ごみ資源化率

25.2 %
(2017年度) 

小田原
暮らしの
勧め

環境

美しい自然環境を子どもたちに引き継ぐため、
守り育む人びとがいる。



ウッドデッキや遊具など、地域産材を活用

地域資源である小田原産の木材を生かしたまちの活性化を目指しています。公共施設のほか、学校給食の食器、ウッドスタートの玩具などで活用しています。



森里川海を活用した環境共生型の地域づくり

森里川海オールインワンの豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、自然や人などの地域資源を生かした経済循環など、持続的な環境保全の仕組みづくりに官民学連携で取り組んでいます。



豊かな自然環境を守り育てる意識づくり

自然環境への理解を深め、地域の自然環境を市民の力で守り育てる意識を高めるため、環境学習や自然観察会など、身近な自然について触れ合い、学ぶ機会の充実を図っています。



「生ごみ」の堆肥化を推進 生(いき)ごみプロジェクト

家庭から出る燃せるごみの約30%を占める「生ごみ」を減らすため、ダンボール箱を利用し、各家庭で、生ごみの堆肥化に手軽に取り組める段ボールコンポストの利用促進に取り組んでいます。



再生可能エネルギーの利用、エネルギーの地域自給

地域が主体となった再生可能エネルギーの利用を促すことで、地球温暖化対策や地域経済の好循環など、地域課題の解決に貢献する、エネルギーの地域自給に係る取り組みを進めています。